

法 学 第 5 1 9 号

平成 29 年 9 月 22 日

各 私 立 学 校 長 様
(小・中・高・特)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 29 年度学校教育の情報化指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、参加希望がある場合は、別紙「推薦名簿」に必要事項を記入の上、平成 29 年 10 月 26 日（木）までに当課宛て提出願います。

また、期限までに提出がない場合は、希望なしとして取り扱うことを申し添えます。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

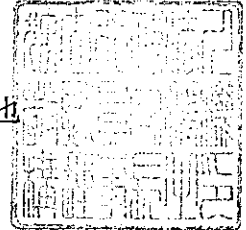
独教事研第115号

平成29年9月19日

各都道府県知事
附属学校を置く各国立大学法人の長 殿

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信也



(印影印刷)

平成29年度学校教育の情報化指導者養成研修の実施について（依頼）

日頃より、独立行政法人教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記の研修について、別添の実施要項に基づき実施いたします。

ついては、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「6 受講者（3）推薦手続」によらず、別紙「推薦名簿」を平成29年11月2日（木）までに、電子メールで事業部研修事業課宛てに御提出願います。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/>）からダウンロード可能です。

また、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。貴職におかれましては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。

なお、受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。



問合せ先

独立行政法人教職員支援機構

事業部 研修事業課

研修プロデュース室 村松・神林

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

TEL:029-879-7017・7010 FAX:029-879-6645

E-mail: ^{エムエル}produce@ml.nits.go.jp

平成29年度 学校教育の情報化指導者養成研修 実施要項

1 目的

各教科等における効果的な指導方法の開発、校務の効率化や学校経営の改善等を進めるため、次期学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域や学校の実態に即して学校教育の情報化を組織的に推進することが重要である。

このため、ICTを活用したわかる授業を展開するための手だて、特色ある教育課程の編成や学校課題解決のためのICT活用戦略づくり等、教育活動の質の改善を円滑に行うため、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者として必要な知識等を習得させ、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 平成30年1月29日(月)～2月2日(金)

5 会場 独立行政法人教職員支援機構つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 受講者

(1) 受講資格

- ①都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者(学校教育の情報化のための整備活動に関わる者を含む)であって、各地域において本研修内容を踏まえた管理職等への説明や学校の指導助言等の指導者としての活動を行う者
 - ②小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
 - ③当機構の修了証書をもって単位認定を行う(予定を含む)教職大学院の学生
- ※女性教職員の更なる活躍が期待されることから、当機構としては、女性教職員の受講者の一層の増加を目指している。

(2) 推薦人数

各都道府県(中核市分を含む)においては2名程度、各指定都市においては1名程度とする。

(3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により、平成29年11月2日(木)までに推薦を行う。

「講義・事例発表・演習1」及び「講義・事例発表・演習3」においては、希望学校種・希望教科を勘案して分科会を設置する。受講者推薦の際には、班分けの希望学校種・希望教科を第3希望まで登録すること。

なお、設置する分科会の例は、次のとおりである。

<講義・事例発表・演習2における教科別部会の例>

- ①国語、②英語(小学校外国語活動を含む)、③社会(地理・歴史、公民を含む)、④理科、生活、⑤算数・数学、⑥技術・家庭、⑦情報、⑧保健体育、⑨図画工作、美術、音楽、芸術、⑩商業、⑪工業、⑫その他の専門教育

<講義・事例発表・演習3における教科別部会の例>

①国語、②英語（小学校外国語活動を含む）、③社会（地理・歴史、公民を含む）、④理科、生活、⑤算数・数学、⑥上記①～⑤以外の教科等（情報、音楽、美術、技術・家庭（技術）などの教科等）

（注）以上のいずれについても、希望者数を勘案し、各グループの設置の有無を決定する。
推薦者が行政系職員で教職経験がない場合であっても、希望校種等を必ず記載すること。

（４）受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教職員支援機構が決定し、通知する。

7 研修内容

別紙「日程表」のとおりとする。演習や協議については、20名の単位（ユニット）を基本として取り組む。

8 事前課題等

（１）事前学習

ア 受講者は、本研修を受講するに当たって、新学習指導要領に目を通しておくことが望ましい。
手元にない場合、文部科学省ホームページ（アドレス等下記参照）に掲載されているので、参照する。

文部科学省ホームページ（<http://www.mext.go.jp/>）→ 教育 → 小学校、中学校、高等学校 → 学習指導要領「生きる力」
→ 文部科学省ホームページ「新学習指導要領（平成29年3月公示）」
（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm）

イ 文部科学省発行の冊子「教育の情報化に関する手引」を読んでおくこと。

手元にない場合、文部科学省ホームページ（アドレス等下記参照）に掲載されているので、参照する。

文部科学省ホームページ（<http://www.mext.go.jp/>）→ 教育 → 小学校、中学校、高等学校 → 教育の情報化の推進 → 文部科学省の方針 → 「教育の情報化に関する手引」について（平成22年10月29日）
（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm）

ウ 独立行政法人教職員支援機構が指定する事前学習用コンテンツ、学校の情報化を自己評価するチェックリストに取り組むこと。詳細は受講者決定の際に通知する。

（２）事前課題（演習「各地域における学校教育の情報化推進の現状と課題」）

演習で使用するため、受講者は事前に次の資料を作成する（別紙様式）。提出方法等詳細については、受講者の決定を通知する際に連絡する。

都道府県・指定都市・中核市・学校等における現状と課題について、「教科指導におけるわかりやすい授業づくりのためのICT活用」「よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方」「情報教育による情報活用能力育成のための指導」「学校における情報モラル教育と地域・家庭との連携」「その他学校教育の情報化推進についての現状と課題」の視点で別紙様式に整理する。

9 その他

（１）所定の課程を修了した者については、修了証書を授与する。

（２）本研修は、原則として宿泊研修とし、独立行政法人教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。

（３）本研修終了後、受講者アンケート等を行う。また研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

平成29年度 学校教育の情報化指導者養成研修

日 程 表

1日目

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:15	15:15	15:30	17:00
平成30年 1月29日 (月)		受付	開講式	オリエンテーション	講義1 「新しい時代における学校教育の情報化」 ◎目的：教育改革の方向性を見据え、現状と課題とを踏まえた学校教育の情報化推進方策の全体像を捉える。	講義2 「次期学習指導要領を踏まえた学校教育の情報化」 ◎目的：次期学習指導要領を踏まえた学校教育の情報化を推進する上での重要なポイントを理解する。	休憩	講義3 「国内外における学校教育の情報化の取組」 ◎目的：学校教育の情報化に関する諸外国の取組を知り、視野を広めるとともに、国内の事例などともあわせて学校教育の情報化を推進する上での重要なポイントを理解する。	休憩	演習 「各地域における学校教育の情報化推進の現状と課題」 ◎目的：各地域における学校教育の情報化に関する取組について情報交換をすることにより、課題を共有する。

2日目

	8:30	12:30	13:30	17:00
平成30年 1月30日 (火)	講義・事例発表・演習1 「情報活用の実践力を育む学習活動の設計」 ◎目的：情報活用の実践力をさまざまな教科・単元で育成する方法を考え、児童・生徒のICT活用を含めてどのような学習活動を設計すればよいのか検討する。	講義・事例発表・演習2 「情報の科学的な理解を深める指導」 ◎目的：情報の科学的な理解を育むことの重要性について考え、発達段階に応じて、どのような指導を行えばよいかを検討する。	講義・事例発表・演習2 「情報の科学的な理解を深める指導」 ◎目的：情報の科学的な理解を育むことの重要性について考え、発達段階に応じて、どのような指導を行えばよいかを検討する。	

3日目

	8:30	12:00	13:00	14:00	14:15	17:00
平成30年 1月31日 (水)	講義・事例発表・演習3 「分かりやすい授業づくりのための教科指導におけるICT活用」 ◎目的：各教科等の目的の実現に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の考え方も踏まえ、効果的かつ計画的なICT活用による授業改善について検討する。	講義・事例発表 「よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方」 ◎目的：校務の情報化の目的と、それによって教員の業務だけでなく教育活動がどのように変化するかを知り、校務の情報化を推進する方策について検討する。	講義・事例発表 「よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方」 ◎目的：校務の情報化の目的と、それによって教員の業務だけでなく教育活動がどのように変化するかを知り、校務の情報化を推進する方策について検討する。	講義・事例発表 「よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方」 ◎目的：校務の情報化の目的と、それによって教員の業務だけでなく教育活動がどのように変化するかを知り、校務の情報化を推進する方策について検討する。	講義・事例発表 「よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方」 ◎目的：校務の情報化の目的と、それによって教員の業務だけでなく教育活動がどのように変化するかを知り、校務の情報化を推進する方策について検討する。	

4日目

	8:30	12:00	13:00	14:00	14:15	17:00
平成30年 2月1日 (木)	講義・事例発表・演習4 「情報社会に主体的に参画する態度を育む指導」 ◎目的：情報社会に主体的に参画する態度を育む指導を行うために、学校の組織的な対応や発達段階に応じた体系的な情報モラル教育のカリキュラムの策定、地域・家庭との連携のあり方について具体的なイメージを持つ。	講義・演習 「学校教育の情報化を推進する研修の企画と運営」 ◎目的：教科指導におけるICT活用に関する校内研修リーダー養成研修の企画・運営を例として、学校教育の情報化の推進に資する研修の企画・運営能力を身に付ける。	講義・演習 「学校教育の情報化を推進する研修の企画と運営」 ◎目的：教科指導におけるICT活用に関する校内研修リーダー養成研修の企画・運営を例として、学校教育の情報化の推進に資する研修の企画・運営能力を身に付ける。	講義・演習 「学校教育の情報化を推進する研修の企画と運営」 ◎目的：教科指導におけるICT活用に関する校内研修リーダー養成研修の企画・運営を例として、学校教育の情報化の推進に資する研修の企画・運営能力を身に付ける。	講義・演習 「学校教育の情報化を推進する研修の企画と運営」 ◎目的：教科指導におけるICT活用に関する校内研修リーダー養成研修の企画・運営を例として、学校教育の情報化の推進に資する研修の企画・運営能力を身に付ける。	

5日目

	8:30	11:30	12:30	14:00	14:10	15:10	15:25
平成30年 2月2日 (金)	講義・事例発表・演習5 「学校教育の情報化推進のためのICT戦略づくり」 ◎目的：本研修における講義や演習の全体を踏まえ、学校教育の情報化を推進するための学校の体制づくりと戦略を考える。学校改革のためのICT活用戦略を考案、発表し、協議する。	講義・事例発表・演習5 「学校教育の情報化推進のためのICT戦略づくり」 ◎目的：本研修における講義や演習の全体を踏まえ、学校教育の情報化を推進するための学校の体制づくりと戦略を考える。学校改革のためのICT活用戦略を考案、発表し、協議する。	講義・事例発表・演習5 「学校教育の情報化推進のためのICT戦略づくり」 ◎目的：本研修における講義や演習の全体を踏まえ、学校教育の情報化を推進するための学校の体制づくりと戦略を考える。学校改革のためのICT活用戦略を考案、発表し、協議する。	課題協議 「学校教育の情報化を推進するリーダーとして」 ◎目的：学校教育の情報化を推進するリーダーとなるための力量と姿勢を改めて確認する。	課題協議 「学校教育の情報化を推進するリーダーとして」 ◎目的：学校教育の情報化を推進するリーダーとなるための力量と姿勢を改めて確認する。	課題協議 「学校教育の情報化を推進するリーダーとして」 ◎目的：学校教育の情報化を推進するリーダーとなるための力量と姿勢を改めて確認する。	課題協議 「学校教育の情報化を推進するリーダーとして」 ◎目的：学校教育の情報化を推進するリーダーとなるための力量と姿勢を改めて確認する。

平成29年度 学校教育の情報化指導者養成研修(事前課題)

演習:「各地域における学校教育の情報化推進の現状と課題」

都道府県・ 政令指定都市		受講者番号		受講者氏名	
-----------------	--	-------	--	-------	--

1 教科指導におけるわかりやすい授業づくりのためのICT活用					
○ 現状					
○ 課題					
2 よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方					
○ 現状					
○ 課題					
3 情報教育による情報活用能力育成のための指導					
○ 現状					
○ 課題					
4 学校における情報モラル教育と地域・家庭との連携					
○ 現状					
○ 課題					
5 その他学校教育の情報化推進についての現状と課題					
○ 現状					
○ 課題					

注1) A4判2頁以内とする。都道府県名、受講者番号を必ず記入すること。

注2) 演習で必要と思われる補助資料等がある場合は、7部(グループ内配布用)を持参すること。

平成29年度学校教育の情報化指導者養成研修 受講者推薦名簿

(教育委員会・学校等名)

推薦 順位	氏 名	フリガナ	年齢 (※1)	性別	所 属					近分け 希望 学校種 ※4	所属機関 種別			所属学級・希望 希望学級(※5)			担当 学年 ※6	備考
					名 称	職名1(※2)	職名2(※3)	郵便番号	住所		第一	第二	第三					
1																		
2																		
3																		
4																		

記入例	〇〇 〇〇	フリガナ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□教育委員会□□課	その他	主任指導主事	000-0000	〇〇市〇〇 〇-〇〇-〇〇	教育委員会	小	国語	算数	理科	000-00-0000
記入例	〇〇 〇〇	フリガナ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□町立□□中学校	教諭	主幹教諭	000-0000	〇〇市〇〇 〇-〇〇-〇〇	中学校	中	社会	外国語 活動	特別 活動	0000-0-0000

- ※1) 年齢は平成29年4月1日現在で記入してください。
- ※2) 「教諭」「指導主事」「校長」「教頭」のいずれかを記入してください。いずれにも該当がない場合は「その他」としてください。また、※3も参照してください。
- ※3) 職名2には(例)「主幹教諭」、「主任指導主事」、「副校長」、「研究員」等を記入してください。職名2に記載された職名を、研修当日に着用いただく名刺に記載します。
- ※4) 教育委員会所属の市町村立学校、中等教育学校の教諭等、特別支援学校の教諭等については、近分けの欄に希望する学校種(「小」、「中」、「高」のいずれか)を記入してください。
- ※5) 第2日目「講義・事例発表・演習1」、第3日目「講義・事例発表・演習2」の希望学級を教科名で記入してください。
- ※6) 小学校所属の場合のみ、現時点での担当学年を記入してください。(教育委員会所属の指導主事等で、担当する学年がある場合は、記入してください。)

【担当者】

この推薦名簿様式は、研修情報登録システムとは運動しておりませんので、「登録に必要な情報を確認する」、「都道府県・政令市教委の担当者への提出用」等の用途でご活用ください。

都道府県・政令市教委の御担当者様におかれは、域内の推薦者をおとりまじめの上、研修情報登録システムから推薦者のご登録処理をお願いいたします。

氏名			
所属			
所属先住所	〒		
電話番号		E-mail	